

2021年10月21日
イオン北海道株式会社

セルフ サービス
イオンのエシカルなファッションブランド「SELF+SERVICE」
道内の「イオン」など32店舗に衣料品回収ボックスを設置
10月18日より順次設置

イオンのエシカル^{※1}なファッションブランド「SELF+SERVICE」(以下、「セルフ+サービス」)は、イオン北海道株式会社(以下、当社)が運営する道内の「イオン」「イオンスーパーセンター」32店舗^{※2}で展開する「セルフ+サービス」の売場にて、10月18日(月)より順次、衣料品回収ボックスを設置し、衣料品の回収に取り組みます。

「セルフ+サービス」は「自然のままの優しい暮らし」をコンセプトに、人と環境に配慮したサステナブル(持続可能)な社会を実現するため、オーガニックコットンやリサイクル素材などを使ったファッションアイテムの販売や、地球環境に配慮したプロジェクトへの参加など、さまざまな取り組みを行っています。その一環として、本州のイオンなどで展開する「セルフ+サービス」の売場では2003年より衣料品の回収をスタートしました。また、イオンは、日本環境設計株式会社が運営する、服の回収から再生素材を使った洋服の販売までを行う取り組み「BRINGTM」に賛同しており、「BRINGTM」の仕組みで回収した衣料品から再生した繊維「BRING MaterialTM」の採用もしております。今回、当社が運営する店舗での衣料品回収ボックスの設置は、初めてとなります。

イオンはサステナブルな社会の構築に向け、お客さまとともに環境保護に参加できる取り組みとして「セルフ+サービス」を通じての衣料品の店頭回収や環境に配慮した商品の提案を積極的に進めてまいります。

「BRINGTM」と「SELF+SERVICE」の取り組み

1. 不要になった衣料品を店頭で回収します。
2. 回収した衣料品は、選別工場にてリユースされるものとリサイクルされるものに分けられます。



リユース

まだまだ着られる衣料品は、海外に輸出され再利用されます。また、裁断し工場用雑巾(ウェス)としても活用されます。

リサイクル

素材別に選別され、マテリアルリサイクル(繊維の再利用)やケミカルリサイクル(繊維の再生)といった方法で、新たな素材になります。

「セルフ+サービス」は回収された衣料品をリサイクルした素材を一部用いた商品を、2020年5月より販売しています。

〈専用の回収ボックス〉



【衣料品回収実施概要】

回収実施店舗数：道内の「イオン」「イオンスーパーセンター」32店舗^{※2}
回収開始日：2021年10月18日(月)より順次

※1：環境保全や社会貢献に配慮すること。

※2：札幌西岡店、札幌栄町店、旭川駅前店、旭川春光店、室蘭店、湯川店、厚岸店では実施していません。イオンモール旭川西の「セルフ+サービス」はイオンリテール(株)運営の店舗となります。

「BRING™」の仕組み



BRING

「BRING™」は日本環境設計株式会社が運営するブランドで、小売店で消費者の古着を回収し、独自技術でポリエステル繊維を再生ポリエステル原料に変え、そこからまた新たな服をつくり販売しています。ポリエステル以外の素材もパートナーと協力しリサイクルしています。この仕組みから生まれた原料が「BRING Material™」です。

回収した服から新しい服をつくることで廃棄される繊維を減らし、資源の有効活用に貢献しています。

【本件に関するお問い合わせ先】

イオン北海道株式会社 環境・社会貢献・広報・IR部 電話：011-865-9111

ご参考

【「SELF+SERVICE」について】

イオンの「セルフ+サービス」は、「自然のままの優しい暮らし」をコンセプトにしたエシカル※¹なファッションブランドです。人と環境に配慮したサステナブル（持続可能）な社会を実現できるよう、オーガニックコットンやリサイクル素材など環境に配慮した素材を使ったファッションアイテムを中心に、エシカルな商品（＝人や環境に優しく、着やすく、扱いやすい商品）やライフスタイルをご提案しています。

また、対象商品のご購入でリサイクルやカーボンオフセットの取り組みにも参加できる仕組みを運営しており、2021年10月現在、道内33店舗（全国約380店舗）で展開しています。その他にも、2014年1月には豊島株式会社「オーガビッツ」が企画する東日本大震災の津波到達地点にさくらを植樹する活動「さくら並木プロジェクト」に参加し継続的に取り組んでいるほか、2018年より、羽毛の回収やリサイクルダウンを使用した商品の製造と販売を推進する「グリーンダウンプロジェクト」にも賛同し、リサイクルされたダウン（グリーンダウン）を使用した商品の展開をしています。

ブランドサイト

(<http://aeonselfservice.com/>)

ブランドコンセプトや製品開発にける想い、2000年のブランド誕生からこれまでに参加している、地球環境に配慮したプロジェクトや人を笑顔にするプロジェクトを紹介しています。そのほかにも、新商品や新店情報などを掲載しています。



インスタグラム

(@self_service_jp)

新商品やコーディネート提案のほか、お得なキャンペーン情報などを随時投稿しています。「自然のままの優しい暮らし」をコンセプトに、無理をしないで、できることから人にも地球にも配慮したエシカルな物や暮らしを提案します。



参加しているプロジェクト例



オーガビッツ×さくら並木ネットワーク

さくら並木プロジェクト

東日本大震災の際に東北で発生した津波の到達地に桜の植樹を行う活動で、NPO法人さくら並木ネットワークが行っています。該当商品のお買上げ1点につき10円が「さくら並木プロジェクト」に寄付されます。



グリーンダウンプロジェクト

不要になった羽毛製品を回収、国内で解体し羽毛を再度洗浄することにより、新毛以上にきれいになったリサイクルダウンを使って新たな製品を産み出す「羽毛の循環システム」です。羽毛を循環させる事で廃棄物として焼却せず、二酸化炭素の排出も抑制します。

※1：環境保全や社会貢献に配慮すること。

【イオン北海道の取り組みについて】

■イオン北海道では、「セルフ+サービス」紹介動画を配信しています！
ぜひご覧ください。

下記URL、または右記のQRコードよりご覧いただけます。

※配信期間は2021年10月20日（水）9時～2022年1月31日（月）18時までとなります。



○イオン北海道公式 YouTube チャンネルURL

https://youtu.be/qbI6GTmluB4?utm_source=newspaper&utm_medium=chirashi

■イオンでは、プライベートブランド「トップバリュ」をはじめ、環境や社会に配慮した商品を豊富に取り揃えております。このたび、当社では10月の3R推進月間に合わせてお客さまとともに環境への意識を高め、行動を起こすきっかけづくりになることを目的に、10月1日（金）～10月31日（日）の期間、環境や社会に配慮した商品の提案を行っています。

この取り組みは、「くらしに身近な物からサステナブルへ」をテーマに、「イオン」「イオンスーパーセンター」「マックスバリュ」「フードセンター」各店舗の衣料品・食料品・住居余暇商品の売場において、オーガニック野菜やオーガニックコットン、フェアトレード商品、FSC認証商品やラベルレス飲料など環境配慮型商品を対象に、専用の販促物やWebチラシ、ホームページなどで提案を強化しています。イオン北海道のネットスーパー「ネットで楽宅便」でもご注文いただけます。

○ホームページ専用サイトURL

<https://www.aeon-hokkaido.jp/sustainablelife/>

